



平成26年度予算案を お知らせします……………	2・3面
日経新聞社の経営革新度調査で 三鷹市が全国第2位に……………	4面
平成26年度版リサイクルカレンダーを 配布します……………	4面
お買い物を楽しめる「定期市」……………	5面
市からのお知らせ……………	11面から

# 平成26年度予算案 一般会計 663億3,500万円

## 新年度の施政方針(概要)

### 「協働」による都市再生とコミュニティ創生を更に進め 自治体経営基盤の強化を図り 市民が躍動する「価値創造都市・三鷹」の推進を

平成26年度の市の予算案が、2月27日から始まった市議会定例会で審議されます。  
三鷹市では、さまざまな「協働のかたち」が、長い歴史の中でひとつの節目を迎え、未来に向けた次なるステージへと進み始めています。「協働を継続するちから」を「未来へのちから」につなげ、市民が躍動する「価値創造都市・三鷹」を進めるために、自治体経営基盤の強化を図り、「第4次三鷹市基本計画」の前期4年間を検証しつつ、計画中期以降につながる施策を着実に推進していきます。

予算案の概要について2・3面で紹介しています



三鷹市長  
清原慶子

平成26(2014)年度は、明治22(1889)年に「三鷹村」が誕生してから125周年を迎え、昭和25(1950)年に「三鷹町」から「三鷹市」になって64年目となります。三鷹市での「民学産公の協働」の実践は多岐にわたり、長寿化への対応や子育て支援の充実が喫緊の課題となっている昨今、その重要性は更に増してきていると言えるでしょう。

私は、三鷹のまちに息づく、「協働を継続するちから」は、三鷹市政を切り拓く「未来へのちから」につながっているように思います。それは、三鷹市で重ねられてきた協働の経験が、三鷹市という都市の「価値の創造」を更に推進するということではな

いかと思います。

三鷹市を取り巻く社会経済情勢がどのようなものであっても、市民の皆様が「三鷹に暮らしていてよかった」と感じていただくために、私たち行政は、自治体経営の健全性、安定性の確保について、たゆまぬ努力を続けていかなければなりません。

私は、平成26年度の施政方針に、『第4次三鷹市基本計画』の着実な推進と『協働』の継続が切り拓く次なるステージと、「社会経済情勢の変化に耐える自治体経営基盤の強化」の2つを位置付けて、しっかりと未来を見据えた施策の展開を図っていきたいと考えています。

#### 「第4次三鷹市基本計画」の着実な推進と「協働」の継続が切り拓く次なるステージ

##### 1 最重点プロジェクトである「都市再生」について

平成28年度完成予定の新川防災公園・多機能複合施設(仮称)の整備、三鷹台団地周辺での子育て支援施設等の整備・再配置や上連雀分庁舎(仮称)の整備など、限られた社会資源を有効に活用しながら、世代を超えた市民の皆様が地域で支えあう環境整備を進めます。



新川防災公園・多機能複合施設(仮称)整備後のイメージ

なお、日本無線株式会社三鷹製作所の移転、三鷹駅南口中央通り東地区の再開発や東京外かく環状道路の整備などについては、多様な主体との連携と協働を通して、より良いまちづくりへつなげるために、適切な対応に努めていきます。

##### 2 最重点プロジェクトである「コミュニティ創生」について

三鷹市の協働の原点でもある7つのコミュニティ住区では、住民協議会の活動の歴史を基礎としつつ、全てのコミュニティ住区で「地域ケアネットワーク」が動き始めます。三鷹市市民協働センターでは、「がんばる地域応援プロジェクト」や「みたかまちづくりディスカッション」の運営、親子や大学生などの若い世代の参加など、協働の取り組みが広がっています。



がんばる地域応援プロジェクト発表会の様子

長年培われてきた「協働を継続するちから」を「未来へのちから」につなげていくために、市民の皆様が躍動する地域の創出に向けて、「コミュニティ創生」の一層の推進を図ります。

##### 3 緊急プロジェクトである「危機管理」について

災害時に地域の共助の拠点となる生活支援施設を増設するとともに、災害時要援護者支援事業の推進、防災出前講座やミニ防災訓練の実施、地域の防災リーダーの育成などにより、市民の自助と地域の共助の取り組みを強化します。総合防災訓練や防災関係機関連携訓練の実施など、公助の取り組みも推進していきます。



明星学園体育館で開催した防災出前講座の様子

平成24・25年度に総務省の「ICT街づくり推進事業」で実証した、多角的なメディアに対する情報発信の仕組みや「多職種連携システム」について、システムの実用化に向けて検討を進めます。

##### 4 重点プロジェクトについて

第4次三鷹市基本計画に位置付けた6つの重点プロジェクトを着実に推進します。  
※重点プロジェクトの概要は2・3面をご覧ください。

#### 社会経済情勢の変化に耐える自治体経営基盤の強化

##### 1 行政サービス水準の適正化について

自治体経営の基盤を強化し、市民満足度を高めるために、「ゼロ・アップ創造予算」、「事務事業総点検運動」などの成果を踏まえた「対話による創造的事業改革手法」、「受益と負担の適正化」、「民営化・委託化等の推進」などにより、効率的・効果的に事業を推進します。

##### 2 柔軟で機動的な推進体制の整備について

政策課題の解決を適切に進めていくために、組織改正に取り組むとともに、職員定数の見直しなどによって人件費の抑制に取り組みます。

##### 3 公共施設などの適正な保全・管理について

公共施設の長寿命化と防災機能の強化を図ります。また、予防保全の観点から、安全・安心・快適に利用できるよう適切な改修などに取り組むとともに、「公共施設総点検運動」を引き続き推進し、施設の管理最適化を図ります。

##### 4 国・東京都などとの適切な関係の確立と財源確保について

国の制度変更の際に、市民の皆様が混乱が生じないように的確な対応を図るとともに、国や東京都の補助金などの確保に努めます。また、地方交付税の不交付団体の立場から、都市財政の充実強化について、国に対して強く意見を述べていきます。

##### 5 健全な財政運営について

債権管理の適正化や、市税などの納付環境の改善など収納率向上に向けた取り組みを進めます。また、後年度負担に配慮した市債の活用や、将来にわたる安定的な財政運営のための基金残高の確保に努めます。

「協働を継続するちから」が「未来へのちから」となり、三鷹市政は次なるステージへと進み始めていると認識しています。私は、議員各位および市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、市民が躍動する「価値創造都市・三鷹」の推進に、誠心誠意努力してまいります。そして、基本構想が掲げる「人間のあすへのまち」に向けて、「高環境・高福祉のまちづくり」を一步一步進めていきたいと考えています。

施政方針全文は市ホームページでご覧いただけます

# 平成26年度の予算案を

平成26年度予算案における一般会計と特別会計の予算総額は、1,041億2,781万9千円で、前年度予算と比較すると、26億2,672万3千円(2.6%)の増となります。

一般会計の予算額は、663億3,500万円で、前年度予算と比較すると、15億4,587万5千円(2.4%)の増です。これは、新川防災公園・多機能複合施設(仮称)や三鷹台団地周辺子育て支援施設等の整備などに係る経費が増となったほか、社会保障関連の経費や、障がい者(児)の自立支援給付費が増となったことなどによるものです。

特別会計の予算額の合計は、377億9,281万9千円で、前年度予算と比較すると、10億8,084万8千円(2.9%)の増です。これは、下水道事業特別会計が減となったものの介護保険事業特別会計や国民健康保険事業特別会計などが増となったことによるものです。

今号では、こうした平成26年度予算案の概要と主な事業の内容をお知らせします。

## 各会計別の予算額

(単位：千円)

会計	平成26年度 予算額	平成25年度 予算額	増 △減		
一般会計	66,335,000	64,789,125	1,545,875	2.4%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	17,624,947	17,271,219	353,728	2.0%
	下水道事業特別会計	3,675,379	3,707,444	△32,065	△0.9%
	介護サービス事業特別会計	1,099,779	1,083,756	16,023	1.5%
	介護保険事業特別会計	11,695,854	11,162,802	533,052	4.8%
	後期高齢者医療特別会計	3,696,860	3,486,750	210,110	6.0%
合計	37,792,819	36,711,971	1,080,848	2.9%	
総計	104,127,819	101,501,096	2,626,723	2.6%	
純計	96,587,176	93,999,683	2,587,493	2.8%	

※「純計」とは、会計間の重複(繰入金・繰入金)を控除した額です。  
※△はマイナス。

## 一般会計と市税の当初予算額の推移

(単位：百万円)

	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度	
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比
歳入・歳出 総額	64,466	5.4%	64,987	0.8%	66,922	3.0%	64,789	△3.2%	66,335	2.4%
うち市税	33,488	△5.6%	33,748	0.8%	33,685	△0.2%	33,812	0.4%	35,272	4.3%

※△はマイナス。

「平成26年度施政方針・予算概要」(1冊200円)、「平成26年度三鷹市一般会計・特別会計予算及び同説明書」(1冊900円)は、相談・情報センター(市役所2階)☎内線2215で販売しています。また、「施政方針・予算概要」は、市ホームページでもご覧いただけます。

## 一般会計 663億3,500万円 (1人当たり368,528円)

※1 %は、一般会計予算に占める割合を示しています。  
※2 1人当たりの金額は、平成26年度の人口見込み180,000人で割り返した金額です。

### 歳出予算

- 議会費**  
市議会の運営に  
  
**5億3,718万円 0.8%**  
(1人当たり2,984円)
- 総務費**  
市役所の運営、コミュニティ、文化、安全安心対策などに  
  
**110億8,678万円 16.7%**  
(1人当たり61,593円)
- 民生費**  
社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などに  
  
**310億5,504万円 46.8%**  
(1人当たり172,528円)
- 衛生費**  
健康増進、ごみ処理、公害対策などに  
  
**37億6,240万円 5.7%**  
(1人当たり20,902円)
- 土木費**  
道路、公園整備、緑化対策などに  
  
**60億4,695万円 9.1%**  
(1人当たり33,594円)
- 消防費**  
消防や防災対策などに  
  
**22億5,403万円 3.4%**  
(1人当たり12,523円)
- 教育費**  
小中学校教育、社会教育、スポーツ振興などに  
  
**65億6,209万円 9.9%**  
(1人当たり36,456円)
- 公債費**  
市債(借入金)の返済に  
  
**42億1,774万円 6.4%**  
(1人当たり23,432円)
- その他**  
消費者・勤労者対策、農業・商工業振興などに  
**8億1,279万円 1.2%**  
(1人当たり4,516円)

### 歳入予算

- 市税**  
みなさんから預かりする税金  
  
**352億7,168万円 53.2%**  
(1人当たり195,954円)
- 各種交付金**  
使い方が定められていない国・都からの交付金など  
  
**35億8,130万円 5.4%**  
(1人当たり19,896円)
- 使用料・手数料、分担金・負担金**  
保育料やごみ処理手数料など、みなさんに負担していただく収入  
  
**16億9,188万円 2.5%**  
(1人当たり9,400円)
- 国庫支出金**  
使い方が定められている国からの負担金・補助金  
  
**98億5,843万円 14.9%**  
(1人当たり54,769円)
- 都支出金**  
使い方が定められている東京都からの負担金・補助金  
  
**75億5,900万円 11.4%**  
(1人当たり41,994円)
- 繰入金**  
基金(貯金)の取り崩しなど  
  
**16億5,890万円 2.5%**  
(1人当たり9,216円)
- 市債**  
都市再生に係る事業などのための借入金  
  
**44億9,030万円 6.8%**  
(1人当たり24,946円)
- その他**  
前年度決算の繰越金や財産売却収入など  
**22億2,351万円 3.3%**  
(1人当たり12,353円)

# お知らせします

☎ 財政課 ☎ 内線2126

## 平成26年度の主な事業

※ここでは、第4次三鷹市基本計画に基づき分類・整理を行っています。

### 都市再生プロジェクト

- 新川防災公園・多機能複合施設(仮称)整備の推進(写真左) 33億9,877万3千円
- 上連雀分庁舎(仮称)整備事業の推進(写真右) 3,925万9千円
- 三鷹台団地周辺子育て支援施設等整備事業の推進 3億200万7千円
- 学校体育館の耐震補強の実施 1億3,612万1千円



新川防災公園・多機能複合施設(仮称)の整備について、平成28年度の完成を目指し、2年次目の施設整備を推進します。また、敷地北側の市道第372号線の電線類地中化に向けて拡幅用地を取得するとともに、電線共同溝整備に着手します。



第二分庁舎について、耐震性の確保と利便性の向上を図るため、上連雀分庁舎(仮称)として整備を進めます。平成26年度は、利用団体との意見交換をしながら実施設計を行います。

### 危機管理プロジェクト

- 災害時要援護者支援事業の推進 1,039万3千円
- 被災建築物・宅地応急危険度判定システムの構築 749万1千円
- 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の促進 4億8,101万5千円
- 防災関係機関連携訓練の実施 90万円

### 健康長寿社会プロジェクト

- 認知症にやさしいまち三鷹の推進 44万6千円
- 胃がん検診の拡充 3,599万6千円
- 第六期介護保険事業計画の策定 405万9千円

### サステナブル都市プロジェクト

- エコタウン開発奨励事業の実施(写真左) 1,208万円
- 使用済小型電子機器等の再資源化の促進 114万3千円
- 学校校庭等の芝生化の推進(写真右) 7,484万9千円



「創・蓄・省エネルギー」設備を導入する住宅開発事業者に対する奨励制度を継続して実施します。



ヒートアイランド現象の緩和など環境負荷の低減の一助とするとともに、児童・生徒への環境教育の推進や体力向上に資するため、東京都の補助金(対象基本額的全額)を活用して校庭などの芝生化整備を行います。

### 地域活性化プロジェクト

- ICT街づくり事業の推進等の地域情報化プラン2022の推進 7,644万7千円
- ものづくり産業の集積・強化の支援 5,473万4千円
- 東京外かく環状道路に関する調査・検討 231万6千円
- 大沢二丁目古民家(仮称)の整備の推進 1億1,768万7千円

### コミュニティ創生プロジェクト

- コミュニティ創生の推進 39万円
- 地域ケアネットワークの推進(写真) 1,341万4千円
- 見守りネットワーク事業の推進 55万3千円
- 買物環境の整備 1,100万円



コミュニティ住区を基盤に、住民協議会をはじめとする地域の市民、関係団体などが連携してネットワークを形成し、地域での課題解決に向けて協働して取り組む「地域ケアネットワーク」の拡充を図ります。平成26年度は、市内7カ所目で最後となる大沢地区での地域ケアネットワーク設立に向けた取り組みを進めます。

### 子ども・子育て支援プロジェクト

- 子ども・子育て支援新制度に向けた検討・準備 5,299万3千円
- 在宅子育て支援の推進 2,451万9千円
- 私立認可保育園の開設による保育定員の拡大 1億6,422万6千円
- コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展(写真) 7,805万8千円



コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育について、「三鷹市立学校小・中一貫教育の推進に係る実施方針」を踏まえ、さらなる内容の充実を図るとともに、持続可能な教育活動や学園運営の支援などを行います。

### セーフティネットプロジェクト

- 障がい福祉計画(第4期)の策定 377万4千円
- 自殺予防対策事業の実施 28万5千円
- 緊急雇用創出事業の実施 2,243万1千円

### 都市交通安全プロジェクト

- 市道第135号線(三鷹台駅前通り)整備の促進 2億3,435万6千円
- 都市計画道路3・4・7号(連雀通り)整備の促進(写真) 4億4,256万2千円



連雀通りの八幡前交差点から下連雀七丁目交差点付近までの区間(約235m)について、東京都の「新みちづくり・まちづくりパートナー事業」を活用し、引き続き用地の取得(193.64㎡)を行います。また、平成27年度以降の道路および電線類地中化(電線共同溝)整備に向けて詳細設計などを実施します。

### その他の新規・拡充事業

- 国際化の推進
  - ホームページの充実とウェブアクセシビリティの向上 43万円
- 「21世紀型自治体」の実現と都市自治の確立
  - 『第4次三鷹市基本計画』の第1次改定に向けた準備 1,010万円
  - キャッシュカードによる口座振替登録手続きの開始 435万2千円